

林道工事に係る落札決定の取り消しと再発防止に向けた取組について

平成24年6月8日
農 林 水 産 部

仙北地域振興局が発注した林道開設工事において、工事費の積算に誤りが判明したため適切な落札決定ではないと判断し、5月9日、落札決定者及び入札参加者に謝罪説明のうえ落札決定の取り消しを行うとともに、同様の誤りがなにか調査を実施した。

1 落札決定の取り消しと工事の再発注

(1) 落札決定を取り消した工事の概要

- ・工事名 流域育成林整備事業(林道) 前沢線
- ・工事場所 大仙市協和峰吉川字天配 地内
- ・工期 平成24年5月14日～平成24年8月31日
- ・工事概要 法面保護工 面積＝4,138.9㎡
植生基材吹付工 (厚さ＝3cm)
- ・予定価格 19,923,750円(うち消費税948,750円)
- ・入札方法 条件付き一般競争入札(最低制限価格制度適用)

(2) 経 過

- ・5月2日 開 札
- ・5月7日 地方入札審査会(資格審査)で落札者を決定。
入札者からの問い合わせにより調査・確認した結果、積算単価の錯誤を確認。
積算担当者が設計書作成システムに入力する際、工事名標示板の単価4,400円を100円安い4,300円を入力したことにより、最低制限価格が1,000円安く設定され、本来失格者とすべき業者を落札者とした。
- ・5月9日 地方入札審査会で落札決定者の取り消しを決定。

(3) 工事の再発注スケジュール

- ・5月28日～6月11日 入札公告・設計図書閲覧
- ・6月13日 開 札
- ・6月22日 契約締結

2 類似事案の有無の調査

(1) 調査内容

地域振興局発注の治山・林道工事で、設計単価入力の際、コード入力しないで手入力した設計書について、同様の設計単価の誤りがなにか調査した。

(2) 調査対象

- ・平成23年度発注済み治山・林道工事
- ・平成24年度発注済み治山・林道工事
- ・現在公告中の治山・林道工事

(3) 設計単価の調査結果 (件)

項	目	平成23年度	平成24年度	計
総件数		152	16	168
	うち手入力	125	15	140
	うち錯誤有り	23	1	24
	うち契約に影響有り	1	1※	2

※落札決定を取り消した工事

(4) 平成23年度発注工事における設計単価錯誤等の地域別内訳 (件)

振興局	総発注件数	錯誤数	契約に影響有り	錯誤内容
鹿角	13	—	—	
北秋田	24	—	—	
山本	27	1	—	工事名標示板の金額錯誤入力
秋田	23	1	—	〃
由利	22	—	—	
仙北	15	15	1	工事名標示板の金額錯誤入力
平鹿	8	3	—	〃
雄勝	20	3	—	〃
計	152	23	1	

(5) 平成23年度発注工事における“契約に影響有り”の内容

今回の落札決定の取り消し事案と同様、設計書作成システムに入力する際、工事名表示板の単価4,400円を100円安い4,300円を入力したことにより、最低制限価格が1,000円安く設定され、これにより本来失格者とすべき業者と1,000円安く契約した。

なお、当該工事は既に完了しており、契約取引の安全を確保する観点から、契約解除とはならない。

(6) 錯誤の要因

平成20年3月13日付けの建設交通部長通知「県産材を利用した工事名標示板について」の単価を、林業関係独自の単価と思い込んで手入力したため。

3 再発防止に向けた取組

- ・5月11日、地域振興局森づくり推進課職員を参集して、「森林土木工事発注に関する会議」を開催。設計単価の適正な取り扱い等について改めて徹底した。
- ・今後の設計積算に当たっては、工事名標示板を含め、実施単価表にある単価はコード入力する。
- ・設計審査に当たっては、使用する単価をチェックリストにより確認するほか、設計書計上の数値と数量集計表の数値の突合を徹底する。